



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

ネット通信

花便り

26 (2012年 9・12月合併号)



報告

北九州高等学園花壇づくり

小雪もすぎ、日増しに朝晩冷え込むようになってまいりました。この秋三つ葉アケビが鈴なりに実を付けているのを見つけ、手の届くところから収穫。紫色の果皮の中に白く甘い実(胎座)の中に黒い種がいっぱい詰まっている。子どもの頃採って食べたことを懐かしく語っていると初めて食べたという若い女性は「すごーく甘いですね(*^_^*)。」残った紫色の皮がきれいだったので水洗い後水気を切って甘味噌と薄衣をつけて天ぷらに、「ほろ苦く旨い」自然の恵みの味をビールとともに楽しんだ。園芸福祉仲間に話すと一様に「えー、皮も食べられるんですかー?」。ちなみに山形県ではアケビを栽培、スーパーで売っており、一般的な食材のようです。「あけび」は、三つ葉と五つ葉があります。詳しくはwebで。谷口 博隆



今年で設立20周年を迎える福岡県立特別支援学校「北九州高等学園」から、記念事業としての花壇づくりの依頼が、夏の終わりにありました。

学校側からの要望は、「11月中旬に行なわれる記念式典の時に、きれいに花があるようにして欲しい。」と言うことと「100名の生徒が一斉に花を植えるので、花の植え方を指導して欲しい」と言うことでした。

校舎に沿って造られた5つの花壇の総面積は約50㎡で、ほとんどの花壇が校舎の陰になっていて日当たりが悪いことや11月中旬にきれいに花を咲かせるという时期的な問題、生徒への指導方法、それに予算のこと。クリアしなければならぬことが色々ありました。



しかし、私たち園芸福祉ふくおかネットは素晴らしい!日頃の活動の経験を生かし、逆算してコスモスの種を蒔くことを考えたり、20周年記念ということが生徒にも分かりやすいように花文字で「20」を表現したり、生徒たちの作品をオブジェに使って学園らしさを表現したり...

10月11日、1年生と3年生を合わせた約100名の生徒たちに、私たち12名が花植えの指導をさせていただきました。

花を植えている生徒一人ひとりの姿を先生が写真に撮っていらっしゃいましたが、ポーズを取っている生徒たちの笑顔に、思わず私たちまで笑顔になっていました。学園の辻先生を初め、多くの皆さまのお蔭で貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

黒瀬 恵子



報 告

私たち、受賞しました!

平成24年10月13日「NPO福岡共助社会づくりフェスタ」に於いて、古賀市緑のまちづくりの会が、園芸福祉部門『福岡地域貢献活動部門賞』を受賞されました。

ふくおか共助社会づくりを受賞して

平成12年古賀市緑のまちづくりの会が設立された時から、先達の山川さんを先導に、農園芸を健康な街づくりのために役立たせようと、熱心な研修が始まりました。はじめは福岡県園芸療法研究会という組織の中で、障がい者や高齢者の健康回復のために、先進の米国からノウハウをもらい、PPK（ピンピンコロリ）を身近な目標にしていたと思います。

その後、専門的な医療資格や知識はなくても・・・誰でも、どこでも花や緑を育てることで幸せになれると「園芸福祉」として活動を始めました。

古賀の活動も発足10年を越えて、たくさんの仲間ができ、たくさんの力を得てきたと思います。今では「多くの市民に潤いを！」と頑張ってきたお花畑が増え、また、いろいろの園芸行事で大忙しです。

私たちはここで、“地域に貢献されました”という立派な賞を頂きました。本当のところ、昨年の「森づくり」の受賞のあと、すぐに「園芸福祉」でも受賞できるかと気になっていました。しかし、一生懸命みんなで活動してきたことを「県」はしっかり認めてくれました。私たちは、これを機会に自信を持って、子ども達、障がい者、そして高齢社会の中の高齢者が、みんな明るく健康で、しあわせな社会になるように、花を咲かせていきたいと思えます。

古賀市緑のまちづくりの会 園芸福祉担当
青崎 安孝



去る10月20・21日に開催された「グリップキャンペーン2012」にて、角銅 久美子さんが緑のコーディネーターや園芸福祉活動、緑を通じての国際交流など、多岐にわたる活動実績が認められ、内閣府より『エイジレス章』に表彰されました。



仕事のパートナー(夫)に先立たれ、17年が経ちました。くよくよしてても仕方がないので、子どもたちも巣立ち“自由の女神”として健康で幸せな時間を過ごすことを心がけました。お陰さまで「緑と水」の仲間にも沢山巡り合えて充実した生活をすごさせていただいています。11月で喜寿を迎え、良いご褒美がいただけたとよろこんでいます。

ピンピン、コロリと行くまでがんばりま〜すと角銅 久美子さん。



報 告

「ハンギングバスケットコンテストで受賞」

昨年の春開催された「福博花しるべ」をきっかけに、身近でハンギングバスケットのコンテストが盛んに行われるようになりました。コンテストへの出展は、自分自身のレベルアップに繋がるので、少しでも若い(?)今の内にチャレンジしようと思いました。作品作りは、いつの時も「自分に納得できるものが作ればいい」と思っていますが、なかなか思うように出来るものではありません。今年は福岡市の「福博花しるべ」、ハウステンボスの「パラスペシャルウィーク」、博多駅の「ROSE TRIP」、ハウステンボスの「ガーデニングワールドカップ」、そして最期に国営海の中道海浜公園「うみなか」に出展しました。幸運なことに、何れのコンテストにも入賞出来ましたが、中でも今年最後に行なわれた「うみなか」で、最優秀賞と日本ハンギングバスケット協会理事長賞をいただけたことが、とても嬉しかったです。

コンテストで受賞することが、自分の中の目的ではありませんが、お互い励まし合って技術を高めていこうとする仲間の存在や家族の理解が、いつの時もボンと私の背中を押してくれているような気がします。いくつになっても、自分の目標を定め「少し頑張ってみよう」、そう思える自分でありたいものです。 黒瀬 恵子



ハンギングバスケット制作講座

去る10月20(土)・21(日)の2日間、天神中央公園でグリップキャンペーン2012が開催されました。グリップキャンペーンがアイランドシティ中央公園で行われる時は、園芸福祉の庭にあるフェンスを利用してハンギングバスケットを展示しましたが、今回はラテイス使って、メイン会場のステージから一番よく見える場所に飾ることになりました。

9月30日(日)園芸福祉の庭の定例作業が終わって「ぐりんぐりん」で制作講座を開きました。今年初めての試みだった大きな容器(コンテストサイズ)と、豪華なフォーチュンベゴニアに皆さんの関心は高く、参加会員は例年以上の23名でした。広々とした「ぐりんぐりん」の中で、青崎さんたちが丹精込めて作って下さったイーゼルにバスケットを掛け、会場に流れる音楽を聴きながら制作。もう、それだけで絵になっています。豪華に出来上がったハンギングバスケットはグリップキャンペーンの会場を華やかに飾り、撮影スポットにもなるほどでした。

制作講座までの期間2週間近くもフォーチュンベゴニアを預かって育ててくれた人、苗や作品を運んでくれた人、それぞれ家に持ち帰って養生し3週間育てイベント前日に持って来てくれた人。一人ひとりの力が一つになって素敵なハンギングバスケットの展示になりました。皆さま、ありがとうございました。大成功!!でした。



事務局からのお知らせ

会員のみなさまへ逸早い情報をお伝えするために、あなたのメールアドレスの登録をお願いします。

携帯、パソコンから、件名のところにご自分のお名前だけ書いて事務局宛に送信しただされば結構です。

また、事務局からのメールは、BCCで一斉配信しておりますので、返信メールの時は、お名前も一緒にご連絡いただくと嬉しいです。

事務局(黒瀬) アドレス

engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp

アイランドシティ中央公園

「園芸福祉の庭」定例会のお知らせ

毎月・最終日曜日に除草や花の植栽など庭の手入れ作業をしています。

1月27日(日)10:00~12:00

みなさまの参加お待ちしております。

作業後、苔玉のスキルアップ勉強会をします。

大橋駅東口ロータリーのハート花壇

12月13日(木)13:00~16:00

九州大学芸術工学部の学生さんと大橋駅東口ロータリーのハート花壇にチューリップ球根の植え込み、そのあと、クリスマスリース・手のひらサイズの小さなリースなどを作ります。

お申し込みは/米倉まで
携帯090-3417-5662



11月7日 春日公園花壇植栽をしました。

老人介護施設の高齢者と立上り式花壇に花苗の植え込み作業をしました。

ほとんどの方が車椅子に座ったままで植え込みをされるのですが、毎回数人の方は車椅子から立ちあがって植える元気な高齢者がおられます。今回はなんと103才!の女性の方が参加されていました。生まれた時代は日露戦争?それとも日清戦争の

時かな? 私は103才まで生きる自信はありませんが、生きるパワーを頂き、お手伝いのし甲斐があった日でした。 井上 妙子



花に触れながら、いつしか笑顔がこぼれていました。写中真央の方が103歳。



姉弟で参加されていたお二人。弟の様子を見ていた91歳のお姉ちゃんも、同じように手を洗っていました。

~ FUKUOKA おしゃれな街づくり ~

7年程前に素晴らしくレベルの高いハンギングバスケット作品に出会い心を強く打たれ、みどりの街づくり、都市景観の向上に大いに活用しなければと考えました。

コンテスト開催など機会ある毎に多くの方々に親しんで頂ける場面の設定を強く推奨してきました。関係団体の公認審査員派遣と厳正な審査、マスター様のご協力で感性豊かなレベルの高い作品の出展が多く、夢や希望、愛や絆、四季などのテーマに沿って美しく表現されています。最近では福岡でもハンギングバスケットコンテストが色んなところで開催されるようになり、イベント会場のウェルカムフラワーとしての役割も担って和みや癒しの空間を演出しています。

マスターさんによる教室や講座も大変好評で参加するとすごく勉強になりとても楽しい、そのうえ作品がイベント会場に飾られ多くのご来場者に観ていただき、評されるのは格別うれしいものです。この秋から福岡市役所の玄関前にも写真のように展示されています。ここを発着するオープントップバスのお客様を花の笑顔でお迎えしているような素晴らしい心配りがなされています。

園芸福祉士 谷口 博隆



あなたも活動紹介をしませんか？

個人やグループ、学校、地域などで行っている園芸活動をお知らせください。メールやお手紙に写真を添えてお送りください。

送り先 / 〒810-0033 福岡市中央区小笹1-9-25

園芸福祉ふくおかネット事務局 黒瀬 恵子宛

Eメール/engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp



会員紹介

松藤 真貴さん (柳川市在住)



私は第3回の園芸福祉講座を受講しました。以前から興味があったので新聞で講座の事を知りすぐに申し込みしました。

今は毎月の定例会に参加し、会員の皆さんの活動の話聞く事がとても楽しみです。どなたも緑や花に関する知識が豊富なので聞いていて為になります。

私は最近会社に植物を飾るようになりました。自然と上司や同僚と植物に関する話をしたり、家で育てている植物を交換したりしてコミュニケーションがスムーズに行えるようになりました。仕事で接点がない人とも植物を通し話をするようになりました。

11月は室内にコニファーを置きクリスマスツリーみたいに飾りつけました。上司が率先して飾りつけました。私は出る幕なしでした。

これからも定例会に参加し、植物を飾るアイデアを沢山いただこうと思います



園芸福祉ふくおかネット事務局

- TEL 090 - 8626 - 1586(黒瀬)
- E-mail engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp
- URL www.engeifukusi-fukuoka.net
- 〒810-0033 福岡市中央区小笹1-9-25
- ネット通信 花便り 編集者 米倉 治美